

五感で感じる関門景観・10選

- 香りの景観
- おいしい景観
- さわれる景観
- 音の景観
- 伝えたい景観

関門景観協議会（北九州市・下関市）

関門景観はとても魅力的です。

たとえば、関門海峡の雄大な自然の景色から受ける感動は、
眼の前に広がる海峡（視覚）のみでなく、潮の香り（嗅覚）や、
波の音（聴覚）、爽やかな風（触覚）、そして時として味覚と
ともにあるものです。

さらに、そこには、自然景観のみならず、
歴史や文化そして人々の営みなどの
様々な残したいものがたくさんあります。

毎日の暮らしのなかで、
関門景観をより、立体的、感覚的に、五感で感じましょう。
関門景観の持つ魅力・感動を発見し伝えましょう。

はじめに

関門景観は、両市民をはじめ、すべての人々にとってかけがえのない貴重な財産です。

下関市と北九州市は、平成13年10月に「関門景観条例」（同一名称・同一条文）を制定し、共同して、魅力ある関門景観の形成に取り組んできました。

平成23年に、条例の制定から10年という節目の年を迎え、これを記念して、（社）山口県建築士会下関支部・（社）福岡県建築士会北九州支部とともに、「五感で感じる関門景観」を広く募集し、『五感で感じる関門景観・10選』を決定しました。たくさんのご応募をいただき誠にありがとうございました。

このハンドブックを手に、ぜひ現地まで足をお運び頂き、関門景観への関心を高めていただければ幸いです。

より魅力ある関門景観を将来に継承していくために、今後も両市と両市民が共同して関門景観の形成に取り組んでいきたいと思います。

平成24年3月
関門景観協議会（北九州市・下関市）

巖流島・関門橋・両市を望む

「五感で感じる関門景観」とは

香りの景観 ～嗅覚と視覚

たとえば、海峡は潮の流れと共に風も流れ、様々な表情を見せます。海岸沿いを歩く時、サイクリングするとき、ドライブするとき、それぞれの季節、時間、天気の中で、移り変わる風景が、様々な風と潮の香りと共に、触れる肌や髪に記憶されるかのようです。

おいしい景観 ～味覚と視覚

たとえば、海に近く自然に恵まれ、又、大陸への玄関口として様々な人々が往来し繁栄した港には、様々な歴史と文化を背景とした数多くの食があります。これを味わうとき、味と共に関門海峡の風情・風景が甦ります。

さわれる景観 ～触覚と視覚

たとえば、秋、紅葉した古城山・火の山の落葉の山道を歩くとき、踏みしめた地面から伝わる感覚や海からのさわやかな風は、木陰から拡がる海峡の雄大な風景と共にかげがえのないこの地の魅力を形づくっています。

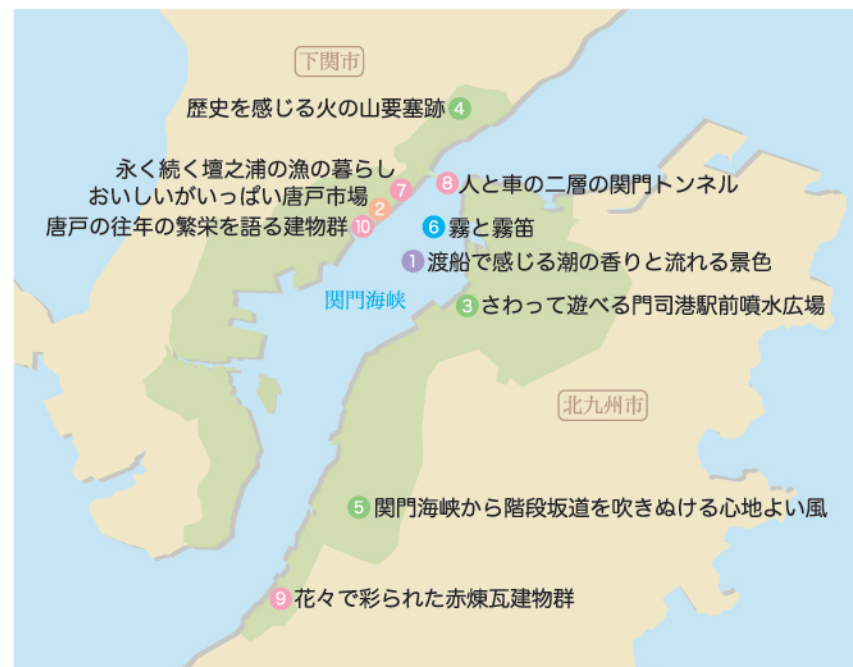
音の景観 ～聴覚と視覚

(関門海峡の潮騒と汽笛～環境省日本の音風景100選より)

伝えたい景観 ～視覚とetc.

たとえば、古き良き栄華やロマンを感じるまちなみ、そして刻々と変わる文化・技術と、その中で変化することなく残る歴史・生活と海峡の景色。

関門海峡は、身体全身に語りかけ、忘れることのできない印象を残します。



『五感で感じる関門景観・10選』マップ

● 香りの景観	渡船で感じる潮の香りと流れる景色	1
● おいしい景観	おいしいがいっぱい唐戸市場	2
● さわれる景観	さわって遊べる門司港駅前噴水広場	3
	歴史を感じる火の山要塞跡	4
	関門海峡から階段坂道を吹きぬける心地よい風	5
● 音の景観	霧と霧笛	6
● 伝えたい景観	永く続く壺之浦の漁の暮らし	7
	人と車の二層の関門トンネル	8
	花々で彩られた赤煉瓦建物群	9
	唐戸の往年の繁栄を語る建物群	10

1 渡船で感じる潮の香りと流れる景色

唐戸と門司港を結ぶ関門連絡船から、潮の香りと変化する景観を楽しむ 約 5 分の旅。関門橋や往来する船を目の前に感じます。

2012 年は巖流島決闘 400 周年。その舞台となった「巖流島」へも、唐戸・門司港からそれぞれ片道約 10 分です。



応募
コメント 潮の香と船のエンジン音、門司港市街地と後ろの山々、
五感で感じる風景だと思う。



門司港に向かう船の上から唐戸側を見る



唐戸へ向かう船の上から門司港側を見る



● 住所 ・唐戸棧橋・・・下関市あるかぼーと



・マリンゲート門司・・・北九州市門司区西海岸一丁目

2 おいしいがいっぱい唐戸市場

唐戸市場は、鮮魚や水産加工品などあらゆる食材をとり揃えています。

屋上は関門景観を一望できる天然の芝生広場となっており、往来する船や関門海峡を挟んで対岸に広がる門司の景観をゆっくり楽しめます。



応募
コメント 唐戸市場は市民の台所を預かっています。今は全国にも知られているので土曜、日曜には
多くの人で賑わいとても“おいしい”匂いで一杯です。この景色が続くことを願っています。
繁栄するってことですから！



唐戸市場外観



唐戸市場屋上芝生



● 住所
唐戸市場・・・下関市唐戸町

● アクセス
ＪＲ下関駅よりバス 7 分
唐戸バス停下車徒歩 3 分

3 さわって遊べる門司港駅前噴水広場

門司港駅は、大正3年に門司駅(当時)として開業。昭和63年には、鉄道駅舎で初めて国の重要文化財に指定されました。



4月～6月・10月・11月は9時から20時まで、7月～9月は9時から21時まで噴水を楽しめます。門司港駅前広場の噴水のパターンは、7種類もあります！



門司港駅前の噴水広場はずっと見ていても飽きることがなく、子どもが噴水にさわって遊んでいるのいい眺めです。



九州の鉄道の起点である門司港駅



門司港駅舎



● 住所
JR 門司港駅・・・北九州市門司区西海岸一丁目



樹氷噴水
※平成24年9月より駅舎改修工事のため休止中です。

4 歴史を感じる火の山要塞跡

標高268mの火の山山頂から、関門海峡や瀬戸内海、日本海を望みながら、静かに歴史に思いを馳せることができます。



【四季折々の花情報】 ● 桜・・・約 1,100 本 (見ごろ：例年4月上旬)
● つつじ・・・約 25,000 本 (見ごろ：例年5月上旬)



日清・日露戦争を想定した要塞は、海峡を挟んで多く残っており、火の山要塞からは海峡が望め、行き交う船が望める。



晴れの日の火の山からの眺め



要塞全体



● 住所
下関市みもす川町火の山山頂

● アクセス
JR 下関駅から火の山行きバス 15 分
「火の山ロープウェイ」下車、徒歩 30 分
下関 IC から車で 15 分 (山頂に立体駐車場があります)

5 関門海峡から階段坂道を吹き抜ける心地よい風

関門海峡と北九州と下関のまちなみや山並みのパノラマ景観が広がります。皿倉山～工場群～巖流島～海峡ゆめタワーが望めます。

耳を澄ますと、風が電車の走る音や遮断機のキンコンと鳴る音を運んできます。



応募
コメント

関門海峡を挟み、門司、下関側とも山もしくは丘陵となっている。その斜面には住居等が建ち、連絡路として階段や道路が通っている。その階段坂道からは、海岸線に直角に延びることから、坂道、階段を通して、関門海峡がのぞめ、船を見ることができる。さらにまっすぐな階段、坂道であることから海峡からの風が心地よく通る。



階段を下から見た写真



巖流島やゆめタワー方面



豆メモ 関門海峡に向かって、まっすぐのびる階段坂道の階段は67段あります！



● 住所
北九州市門司区矢筈町

● アクセス
JR小森江駅から徒歩約20分
小森江浄水場付近



視点場までの目印！
風師登山道
小森江口
(国道3号小森江口交差点)

6 霧と霧笛

霧の中にぼんやりと船の姿が浮かび、晴れの日とは違った幻想的な関門景観を感じます。

世界中の様々な港を結ぶ船の情報（国籍、長さ、行き先など）を、関門海峡らいぶ館で見ることができます。



応募
コメント

関門海峡は、春・梅雨に霧がよく発生する。航行規制されることもあれば、注意しつつ航行可能な場合もある。航行可能な場合は大型船等は霧笛をならす。関門海峡ならではの景観である。見ている人にとっては霧による湿りを感じる。



霧の中の船



晴れの日の関門海峡



雲に隠れる関門橋 雲海

関門海峡らいぶ館のご案内

住 所：北九州市門司区西海岸一丁目6-2
(旧JR九州本社ビル1階)

入館料：無 料
(開館時間：10時から18時まで)

休館日：毎月第2・第4木曜日・年末年始

7 永く続く壇之浦の漁の暮らし

壇之浦という地名は、かつて、みもすそ川公園の周辺の指す地名であったと伝えられています。

ここでの漁法は、タコやカサゴ、アコウなどを対象とした一本釣りと、アナゴを対象としたカゴ漁が主となっています。



応募
コメント

狭い海峡での漁をする人々の小さな漁港基地、そこに永年と続く生活がある。



欄干



漁港入り口を望む壇之浦交差点



● 住所

下関市壇之浦町

● アクセス

J R 下関駅 バスよりバス10分

長府方面行き壇之浦バス停下車徒歩1分

8 人と車の二層の関門トンネル

関門海峡の中で2つの市が繋がり、本州と九州を結びます。

関門国道トンネルは昭和33年に開通。二重構造になっていて、上が車道、下が人道となっています。車道トンネルは、全長3,461m。門司側では「ふく」、下関側では海底をイメージするブルーの入口壁が迎えてくれます。人道トンネルは、ランニングやウォーキングも快適、自転車も押して通れます。日本で唯一の海底人道トンネル、距離は780m、徒歩約15分で渡れます。

豆メモ

他にも、関門橋、新幹線関門トンネル、関門連絡船、関門鉄道トンネルが2つの市をつなぎます。



応募
コメント

一つのトンネルの上下で車道と人道が造られている関門トンネルはすごい!!です。入口が別々の場所にあるのに海の中で一つになって上下で海を渡る? “関門”だからできたトンネルだと思います。



関門トンネル人道入口



高いところから見た関門国道トンネル入口



関門国道トンネル入口



関門TOPPA記念証



● 住所

関門トンネル人道入口
下関市側：下関市みもすそ川町
北九州市側：北九州市門司区門司

● アクセス

下関市側：みもすそ川バス停下車
北九州市側：関門トンネル人道口バス停下車
通行時間 6:00~22:00

9 花々で彩られた赤煉瓦建物群

門司赤煉瓦プレイスは、大正時代に建てられたビール工場の煉瓦施設を、展示施設や交流館として活用しています。この建物は、歴史的価値が認められ、国の登録有形文化財に登録されています。



- 応募 赤煉瓦と鉾津煉瓦の歴史ある建物群と、周辺のクロマツや緑色々の花々が美しい。
コメント バラなどいろいろな花が赤煉瓦の醸造棟の周りに咲いていた。



バラと旧醸造棟



クロマツと鉾津煉瓦の門司麦酒煉瓦館

- 豆メモ 煉瓦建物の周りには、ピンク色や白色のバラの花がたくさん！
ほかにも赤や黄色のバラが見られます！バラは5月・6月・9月・10月がおすすめ☆



- 住所 北九州市門司区大里本町三丁目
- アクセス JR門司駅北口より徒歩3分

10 江戸の往年の繁栄を語る建物群

旧秋田商会ビルや下関南部町郵便局など、夜もライトアップ巡りが楽しめます。
旧秋田商会ビルは、年に1回程度の屋上庭園の一般公開があります。



- 応募 秋田商会の屋上庭園、現役郵便局、改修工事の終了するのが待ちどおしい英国領事館など、江戸の往年の繁栄がしのばれる景観です。



夜間のライトアップ



旧秋田商会ビル



歩道橋から屋上庭園・しゃちほこも見える



下関市南部町郵便局



旧下関英国領事館



田中綱代ぶんか館



- 住所 下関市南部町
- アクセス JR下関駅よりバス7分
江戸バス停下車すぐ

『五感で感じる関門景観・10選』決定までの流れ

● 公募（五感で感じる関門景観の募集）【応募総数 176件】

募集期間：平成23年9月1日（木）～9月30日（金）

募集内容：概ね「関門景観形成地域」内にあり、五感を交えた将来に継承したい関門景観

● ウォッチング（10選候補の視察バスツアー）【参加者 92名】

開催日：平成23年10月30日（日）*雨天

参加者：福岡県・山口県内の大学生・景観まちづくり団体・有識者・建築士会・両市

● ワークショップ（意見交換・投票による10選の選出）【参加者 105名】

開催日：平成23年11月3日（木・祝）*ワールド・カフェ形式

参加者：両県内の大学生・景観まちづくり団体・公募参加者・有識者・建築士会・両市

応募があった176件のうち一部をご紹介します！



関門海峡の汐の香りを一番近くを感じる



門司港の焼きカレー
*短い国道198号線



関門海峡たこ

五感で感じる関門景観

まだまだ
たくさんある！



足の裏に伝わる柔らかな感触



和布刈の桜



栈橋が波に揺られてきしむ音や
渡船と防舷材がこすれる音



大型船のたてる波しぶきの音



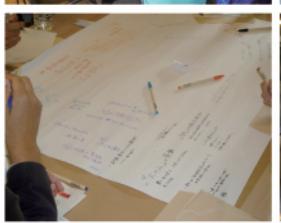
彦島の水門



火の山からの夜景



三宜楼を眺める小道



参加の皆さまから寄せられたコメント

両市の方々との交流が最高でした。

他の人が何に興味を持ち、
何を考えたかに触れられる
貴重な機会でした。

あいにくの雨でしたが、霧の中の火の山はすごく幻想的でした。
火の山という一つの場合ですが、昼、夜、天気によってその
見え方は大きく変わり、それぞれによさがあることを、
知っていただきたいですし、自分でも学ぶことができました。

天候には恵まれなかったですが、
地元の知らない景色を見ることができ、
あらためて、関門の良さを確認
することが出来て良かったです。

関門景観は、両市の間にあるもので、今後も両市が協力し合っていく必要がある。

私はこの時、魅力的な景観が表れるための条件に触れた気がした。
それは景観の持つ不動の場所性に、感覚や天候等の流動的な状況が
ゲリラ的にマッチして表れるということである。

同じ場所でもスパイスが変われば違う魅力が味わえる。

生憎の雨だったが、ウォッチングからはこのような楽しみ方を学べた。

同じ景観でも天候や季節に応じて変化が現れ、それにも独自の美しさがあるので、

変化を楽しめるように、何度か訪れればさらに魅力深く映ると思う。

今回のWSでは、景観は美しい風景だけではなく、香りであったり生活感であったり、そう
いうものとあいまって作り出されるものだということを感じました。私自身香りをきっかけに、
小さい頃に見た美しい風景や懐かしい風景を思い起こすことがあります。
このWSではそういった記憶の奥底にまで残る、より幅広い景観を選定することが
でき、新しいきっかけになったのではないかと思います。こういった形のWSが開催される
ことで新しい形の景観が見つかったのではないかと思います。非常に有意義で楽しいWSでした。

景観は建物だけでなく、
地域が形成されてきた
歴史や住民の生活が大
きく関係している。
確かにまちの区画を計
画し、新しい建物によっ
て整理整頓された都市
景観は魅力的である。
しかし、路地に溢れ
だす生活の匂い、
船溜まりで揺れ動
く船など古くから
人々が築いてきた
歴史や生活によつ
て成り立つ風景が
ここには残っている。
このような風景は合理
的な建物や都市ばかり
が形成されつつある現
在だからこそ継承して
いくべきだと感じた。

自分の知らない景色があり、そこに歴史があること、そして、

後生に残すべき風景がたくさん存在している ことを知りました。

Special Thanks

五感で感じる関門景観に応募いただいたみなさま

ワークショップ・ウォッチングに参加いただいたみなさま
公募参加者や福岡県・山口県内の大学生

ワークショップのテーブルリーダーのみなさま

岩下陽市（九州職業能力開発大学校 教授 建築系 建築生産設計Lab）

上田曜子（門司の景観を考える会 代表）

岡田知子（西日本工業大学 教授 デザイン学部建築学科）

尾道建二（九州共立大学 名誉教授 総合研究所 客員研究員）

小島治幸（九州共立大学 名誉教授 総合研究所 特別研究員）

内田文雄（山口大学大学院 教授 理工学研究科）

高実りか（カラーコーディネーター）

松原浩一（山口県立下関中央工業高等学校 教員）

横山順子（下関市立大学 地域共創センター）

吉光純也（東亜大学 副学長）

敬称略

五感で感じる関門景観にご協力くださったすべてのみなさま

関門景観をとっても好きなみなさま

（社）福岡県建築士会北九州支部 ・（社）山口県建築士会下関支部

私たちの暮らしの中の関門景観を、

毎日、五感で感じ、発見し、発信し、思いをみんなで共有しながら、

魅力ある関門景観を守り、後世につなげていきましょう。

関門景観協議会（北九州市・下関市）

関門景観ポータルサイト <http://www.kanmon-keikan.com/>

北九州市建築都市局計画部都市計画課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1

tel 093-582-2595 fax 093-582-2503

mail toshi-toshikeikaku@city.kitakyushu.lg.jp

下関市都市整備部まちなみ住環境整備課

〒750-8521 下関市南部町1-1

tel 083-231-1225 fax 083-231-1901

mail tsmachin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp